

特定健診・保健指導セミナーを開催

予防医学事業中央会

2008年度からの新しい体制 づくりをめざし講義や情報交換

2008年度から、医療保険者による特定健診・特定保健指導が実施される予定だが、当事者である医療保険者も、またその大部分を委託されることになる健診機関も、具体的な対策については手探り状態にある。こうした中、「平成20年度からの新しい健診・保健指導の体制づくりをめざして」をテーマに、予防医学事業中央会(中央会)が主催する特定健診・特定保健指導(担当者)セミナーが、12月5日、6日の両日にわたり東京で開催された。セミナーには、中央会の全国支部から、保健師、管理栄養士を中心に、健康教育や健診活動に携わっている担当者ら83人が参加した。

今回のセミナーでは、6つの講義が行われた。最初に行われたのは、厚生労働省保健政策の立場から、厚生労働省保健政策の推進に必要とされることと題する2つの講義が行われ、医療制度改革の概要と特定健診・保健指導が導入されるに至った経緯、具体的な健診・保健指導の実施・評価の手順などが説明された。講義のなかで勝又至長は、保健指導階層化の実態を把握するために千葉県で行われた事例をもとに「予想に反し、動機づけ支援、積極的支援の対象者が7割に



務化について、同健康局の勝又至長室長による「地域保健をめぐる国の動き―保健師リーダーに必要とされること」と題する2つの講義が行われ、医療制度改革の概要と特定健診・保健指導が導入されるに至った経緯、具体的な健診・保健指導の実施・評価の手順などが説明された。講義のなかで勝又至長は、保健指導階層化の実態を把握するために千葉県で行われた事例をもとに「予想に反し、動機づけ支援、積極的支援の対象者が7割に

及ぶことが判明した。限られた陣容と費用の中で、7割も対象者に保健指導を行うことは難しく、さらに優先順位をつけて絞り込む必要がある」との見通しを示し、標準的な健診・保健指導プログラムの確定版には優先順位の付け方についても盛り込む予定であると述べた。

健診・検査データ共有化事業で「認証」受ける

【本会】



近年、健診や検査データ(検査結果)の共有化が、医療や健診関係者をはじめ、健診や検査を委託している企業や健保組合、さらには受診者からも求められるようになってきた。このため、予防医学事業中央会(中央会)では、全国どの支部で健診・検査を行っても、限りなく同一の数値が

近々、健診や検査データ(検査結果)の共有化が、医療や健診関係者をはじめ、健診や検査を委託している企業や健保組合、さらには受診者からも求められるようになってきた。このため、予防医学事業中央会(中央会)では、全国どの支部で健診・検査を行っても、限りなく同一の数値が

お知らせ

第212回ヘルスケア研修会

健康管理のトラブル

判例から学ぶ

3月28日(水)午後2時~4時
東京・永田町「星陵会館」

第212回ヘルスケア研修会が3月28日(水)午後2時から4時まで、東京・永田町の「星陵会館」で開かれる。

「健康管理のトラブル」判例から学ぶ」をテーマに、東京産業保健推進センターの加藤雅治氏が講演する。司会は、東京地下鉄保健医療センター所長の鷲崎誠氏。

会場の「星陵会館」は、地下鉄各線「永田町」「国会議事堂前」「溜池山王」「赤坂見附」駅下車、徒歩10分以内のところ。参加費2000円。定員先着400人。

職場における健康診断推進運動

2月1日から28日

全国労働衛生団体連合会(全衛連)と中央労働災害防止協会では、2月1日からの1カ月間を「職場における健康診断推進運動」として、中小企業における健康管理の実

施促進をめざした全国的な活動を展開する。今年は「ムダにしないで大事なチャンス!」年に一度の健康診断をスローガンに各地でさまざまな取り組みを予定している。

このうち、全衛連は、この運動期間中の事業所として「(平成18年度)はる新宿」の会員本人が

年度、働く人の健康診断推進運動を実施する。この事業による健康診断の内容は、①医師の診察、②身長・体重・視力測定、③聴力検査、④胸部X線検査、⑤血圧測定、⑥尿検査、⑦血糖検査、⑧貧血検査、⑨肝機能検査、⑩脂質検査、⑪心電図検査の11項目。

また、新宿区勤労者福祉サービスセンター(愛称「はる新宿」)では、加入している事業所で行っている人たちが「(はる新宿)の会員本人」が

回1500円の受診補助を行っている。本会では、2月中は全衛連東京地区協議会による「働く人の健康診断推進運動」の補助と、「はる新宿」の受診補助をあわせて利用できる、通常よりも割安の受診料となるため気軽に健康診断を受けてもらいたいと呼びかけている。

受診の申し込みやお問合せは、本会の施設健診課(電話03-3269-1141)で受け付けている。

保健会館 クリニックの 顔

6



内科・糖尿病外来
いがらし ひろし 医師
五十嵐康宏

糖尿病などの代謝内分泌を専門とする五十嵐康宏医師は、順天堂大学で臨床や基礎研究にあたりながら、

これらの疾患は近年、より厳格なコントロールが求められる。そのため、診察時にはきち

んとした生活習慣介入を行うために、管理栄養士と連携しながら食事や運動の習慣などの生活状況を詳しくお聞きし、問題点を明らかにしてその方の生活スタイルにあわせて具体的に実践的な生活改善アドバイスを行うようにしています。

また、薬剤使用の必要性や使用薬剤の選択について、検査結果とともに十分時間をとって説明するよう心がけています。

五十嵐医師の趣味は、競馬です。「ダンスは運動強度もさまざま、天候に左右されず、特別な器具を必要としないため、運動療法の一環として適していると考えています」といいます。

「健康管理のトラブル」判例から学ぶ」をテーマに、東京産業保健推進センターの加藤雅治氏が講演する。司会は、東京地下鉄保健医療センター所長の鷲崎誠氏。

会場の「星陵会館」は、地下鉄各線「永田町」「国会議事堂前」「溜池山王」「赤坂見附」駅下車、徒歩10分以内のところ。参加費2000円。定員先着400人。

個人情報取り扱いについて

日ごろより、東京都予防医学協会の機関紙「よぼう医学」をご愛読くださりありがとうございます。本会では、現在「よぼう医学」を送付させていただいている皆様について、送付に必要な情報(名前、住所、所属、役職など)を送付名簿として保持しております。これらの個人情報の収集、保存、利用につきましては、本会の個人情報保護方針に基づき、厳重な管理のもとに運用しております。そのうえで今後も継続して送らせていただきたいと思います。送付名簿から削除を希望される場合には、お手数ですが、広報室(電話03-3269-1131)までご連絡ください。

健康管理相談をお引き受けします

当センターの会員が事業所、学校、各種団体の健康管理をアドバイスいたします。

お問い合わせ・ご相談は(予約制)
電話 東京(03)-3269-1141
健康管理コンサルタントセンター
事務局 東京都新宿区市谷砂土原町1の2
(財)東京都予防医学協会

◆◆◆ コンサルテーションのごあんない ◆◆◆

- 2月 7日 岡 惺治 (健康管理コンサルタント)
- 14日 三輪祐一 (東京都予防医学協会総合健診部長)
- 21日 岡 惺治
- 28日 三輪祐一

- 3月 7日 岡 惺治
- 14日 三輪祐一
- 21日 祝日につき休み
- 28日 第212回ヘルスケア研修会につき休み